

原子炉利用研究者グループ幹事会 議事録

日時：2025 年 1 月 21 日(火) 13：30～14：15

場所：Zoom によるオンラインミーティング

出席者（順不同、敬称略）

所外：井川 和代（岡山大学）、渡辺 賢一（九州大学）、益谷 美都子（長崎大学）、
納富 昭弘（九州大学）、鈴木 達也（長岡技術科学大学）、吉村 崇（大阪大学）、
佐藤 紘一（鹿児島大学）、佐野 忠史（近畿大学）、小林 大志（京都大学）、
三浦 勉（産業技術総合研究所）、大場 洋次郎（豊橋技術科学大学）、
太田 朋子（長岡技術科学大学）

所内：櫻井 良憲、鈴木 実、高宮 幸一、日野 正裕、近藤 夏子、高田 卓志、木野村 淳、
池上 麻衣子、渡邊 翼、（事務局）新野 尚子

添付資料：

資料 1：前回幹事会議事録（R6.10.8 開催）

資料 2：令和 6 年決算報告書・会計監査報告書

資料 3：令和 7 年予算（案）

資料 4：令和 7 年度活動予定表（案）

資料 5：新幹事リスト

議題：

1. 議事録の確認（前回幹事会）
2. 令和 6 年度事業報告・会計報告
3. 令和 7 年度予算案
4. 令和 7 年度活動予定
5. 新幹事紹介と役割分担について
6. 名誉会員の推薦について
7. その他

井川代表幹事が司会進行を務め、以下の通り実施された。

1. 議事録の確認（前回幹事会）（櫻井総務幹事）

資料 1 に基づき説明がなされた。幹事からの意見はなく承認された。1 週間内程度を目途に意見等を募り、特に意見が無ければ記事録を確定する旨の説明があった。

2. 令和 6 年度事業報告・会計報告（櫻井幹事）

令和 6 年度の事業報告として、運営委員会委員候補者選挙、共同利用研究委員会委員候補者選挙、利用者グループ幹事選挙の実施、および 9 件の専門研究会等の運営補助金による支援活動について報告がなされた。

続けて、鈴木会計幹事の代理として櫻井幹事より、資料 2 に基づき令和 6 年度の会計報告がなされた。収入合計 686,954 円に対し、支出合計 686,954 円であり、内訳として研究会等運営補助費（9 件）計 27,000 円の支出があり、残金 659,954 円が次期に繰り越される旨の説明があった。

続けて、財産目録が示され、本年度より銀行預金に加えて、研究会等運営補助費のための準備金としていくらかの現金を金庫にて保管管理するとの説明がなされた。

続けて、吉橋会計監査幹事の代理として櫻井幹事より会計監査結果について報告があり、

監査結果に問題はなく、適正な処理がなされていた旨の説明があった。

これらについて、幹事からの意見なく、承認された。

3. 令和7年度予算案（櫻井幹事、鈴木幹事）

続けて、櫻井幹事より、資料3に基づき説明がなされた。収入として前年度繰越金である659,954円を、支出として研究会運営補助費（12件分）計36,000円、共同利用支援のための物品購入費580,000円、また、次期以降の研究運営費補助費等の予備金として次期繰越金43,954円を計上している旨の説明がなされた。

佐野幹事より、共同利用支援のための物品購入費について、購入予定の物品は具体的に決定しているかとの質問があった。櫻井幹事より、教育訓練用の端末（iPad等）や自転車に加えて、新設された控室に設置する共用のPCやプリンター等を検討しているとの回答があった。

井川幹事より、準備金の運用について、予算案では研究会運営補助金として36,000円が計上されているが、財産目録によると金庫にて管理する金額は12,000円となっており、使用の都度、預金口座から補充するのかとの質問があった。櫻井幹事から、翌年度の最初の研究会が開催される頃に預金口座から金庫に入金し、使用の状況に応じて補充する旨の回答がなされた。

その他、幹事から意見なく、承認された。

4. 令和7年度活動予定（櫻井幹事）

資料4に基づき、総会および幹事会3回が予定されている旨の説明がなされた。令和6年度総会については、将来短期研究会（2/14）の昼休憩の時間帯での開催を予定しており、あらためて出欠について確認する旨、補足説明があった。

幹事から意見なく、承認された。

5. 新幹事紹介と役割分担について（櫻井幹事）

資料5に基づき新幹事および運営委員会委員幹事候補者の説明の後、各幹事より自己紹介がなされた。役員幹事（代表、総務、会計、会計監査）の担当を連続3期までとする規約の確認がなされた後、以下の通り新幹事の役割分担案が提示された。

新幹事役割分担案

代表幹事	井川 和代（岡山大学）
総 務	櫻井 良憲（京大複合研）
会 計	高宮 幸一（京大複合研）
会計監査	益谷 美都子（長崎大学）
広 報	鈴木 実（京大複合研）
庶務全般	渡辺 賢一（九州大学）、吉橋 幸子（名古屋大学）、 近藤 夏子（京大複合研）、日野 正裕（京大複合研）
記録担当	高田 卓志（京大複合研）、木野村 淳（京大複合研）、池上 麻衣子（京大複合研）
利用環境	川端 信司（大阪医科薬科大学）、吉村 崇（大阪大学）、 鈴木 達也（長岡技術科学大学）、佐藤 紘一（鹿児島大学）、 佐野 忠史（近畿大学）、北田 孝典（大阪大学）、北口 雅暁（名古屋大学）、 小林 大志（京都大学）、 堀 順一（京大複合研）、山村 朝雄（京大複合研）、渡邊 翼（京大複合研）

この案は従来通りの得票順に割り当てる方針に基づいているが、京大複合研・鈴木実幹事については 3 期連続して役員幹事を担当してきたことから広報担当の割り当てとした。幹事から異論なく、承認された。

6. 名誉会員の推薦について（櫻井幹事）

初めに名誉会員の推薦基準が確認された後、名誉会員は利用者グループへの永続的な参加が可能であること、広報誌 **ASK** が送付されることの説明があった。複合研所内では沖雄一教授が推薦対象であるとの説明があった。所外の推薦候補者の提案はなされなかったが、対象者がいる場合は事務局に連絡するよう依頼があった。
幹事から意見なく、承認された。

7. その他

幹事からその他の議題は出されなかった。
櫻井幹事より、**KUR** の運転停止に向けて利用者グループの今後の活動について検討を開始したい旨の意見があった。

井川代表幹事より閉会の挨拶がなされ、閉会した。

以上